



表紙 楽山亭
(与板町公民館)

特別寄稿 システムズ・アプローチ

視 点 公民館で火権・同和教育を

ひるば 地方の個性を活かせ

サークル交流 陶炎木曜コース (白根市中央)

栄町タシスクラブ (栄町)

素顔拝見 坂上和雄様 (加茂市)

吉原俊美様 (中郷村)



生きがいを感じる社会をめざして

『新時代に果たす公民館の役割』を

↓明らかにし、今後の充実・発展に役立てる

去る10月23日(木)・24日(金)にわ

たり、富山市の市芸術文化ホー

ルを中心に、第20回全国公民館

研究集会が開催された。隣県で

あるということもあり、本県か

らは糸西地区を中心に16名の参

加があった。

今回は、研究主題を『新時代

に果たす公民館の役割は』

——生きがいを感じる社会をめ

ざして——と設定し、第一日目

は二千八百有余人の参加者が十

分科会に別れて熱

心な研究討議を展

開した。

第二日目の全体

会の開会セレモ

ニーは、大西末廣

会長代行の主催者

あいさつに始ま

り、文部大臣代理

の社会教育課長及

び中沖豊富山県知

事の来賓祝辞、そ

して地元正橋正一

富山市長の歓迎あ

いさつで終了し

た。

場内のドヨメキ

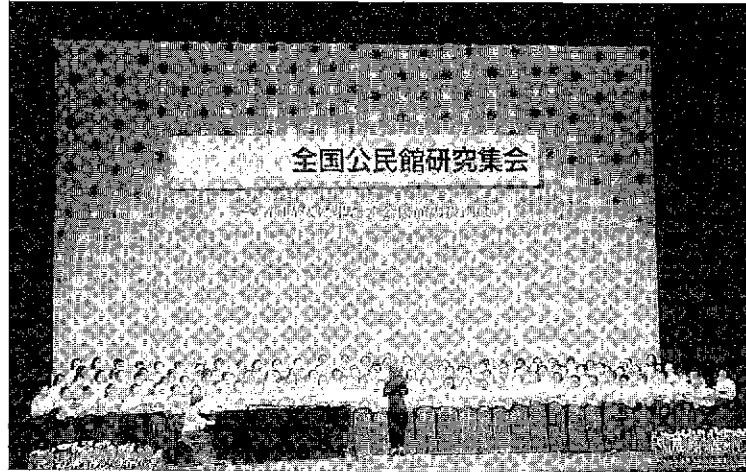
と共に舞台は一転

(何と回り舞台)

し、ステージ上は

越中民謡の世界と

なった。こきりこ



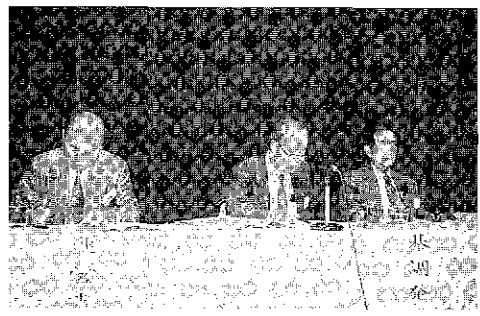
オープニングで「公民館の歌」合唱 富山市民大学合唱コースの皆さん

節、越中おわら節等、素材で哀調をおびた音色と踊りの姿が、実に幻想的であった。

地元出身森隆夫先生の記念講演は、「暮らしは低く、思いは高く」と題して、現代の社会風潮、とくに家庭教育面での大人と子どもの幼児化現象に焦点を当て、内外の学説を引用し、また具体的な事例を紹介し、ユーモアを交えてのお話は、大変な迫力と説得力も十分で、時間の経過を忘れ去る思いであった。そして最後は、生きる力の育成、心の教育の必要性についてまとめられたのが、実に印象的であった。

閉会行事では、次期開催地鹿児島県民謡の合唱をバックに大会旗の引継ぎがなされ、福田千年鹿児島県公連会長が、第21回大会は、かごしまロマン街頭で「語いもんそ」としめくられた。

今回の大会に参加しての感想は、さすが教育原富山、大会運営が実にきめ細かくスムーズであったのと、理路整然とまとめられた分科会記録が光っていた。



スライドも使って発表する武藤眞一様(中央)



第9分科会 高齢者の学習で
基調発表の大役を果たす
中頸・板倉町公民館教養部長
武藤 眞 一様

「高齢者の生きがいを高める公民館活動の在り方」について

本県からは、武藤眞一様(中央)が右記表題で実践事例をスライドを交えて発表されたが、その発表骨子は左記のとおりである。

- 一、高齢者の生きがい学習
- (1)豊かで充実した日々を
- (2)高齢者大学の取組み
- (3)シルバー大学院への展開
- 二、町老連の活動と公民館活動との連携
- (1)高齢者大学と中学生の交流
- ・合唱、・意見発表、・座談

会

- (2)町老連間の交流(各小学校区毎6地区で)
- ・若年主婦との交流会、・保育園訪問(サンタクロースとして)、・小学生に伝統技の伝承——餅つき、わら細工、民話、昔の遊び、ゲートボール交流等、・ボランティア活動
- 道路の空け拾い、公共の場所の除草・清掃、友愛訪問等
- (3)花いっぱい運動の実践
- ・町内公共施設の花壇造成、・保育園、小・中学校への花の苗の供給、小学生と花壇づくり、・ロードフラワーへの援助
- (4)公民館の各サークルへの積極参加
- (5)善意銀行への登録と活動
- (6)町民体育祭、町民芸能まつり、町文化祭への参加 以上

◇高齢者の社会参加や世代間交流に中心を置いての発表内容は具体的で、大変好評であった。

下越公連役職員研修会盛会裏に終了

◇とき 平成9.9.25(木)~26(金)
◇ところ 鹿瀬町角神温泉・ホテル角神
津川町ふるさと交流川屋敷等



講演中の澤野修津川町長様

上記研修会は、三市・中・東蒲原郡公民館連絡協議会の本管の下、約140名の参加を得て盛会裏に終了した。
初日は「地域課題解決のためのあり方——人づくり・地域づくりを指して——」と題して、新潟大学教育学部教授の斎藤勉先生の基調講演がなされ、それを受けて、その後4分

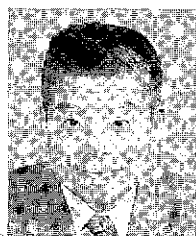
科会に別れて夕刻まで熱心な討議がなされた。
下越公連研修会の特色でもある夜の情報交換会では、本音での意見交換が積極的に展開され、秋の夜も短く感じられた。
二日目は会場を津川町ふるさと交流川屋敷に移し、「狐の嫁入り行列と公民館活動」と題して、津川町長澤野修様から、きつかけから今日の盛大なイベントに至るまでの経緯について、熱意あふる具体的なお話がなされ、人づくり・地域づくりについて締め括られた。

視点

先日、新潟市で開催された北陸同和教育講座に十二年参加した。講座の内容、参加者の姿勢がともに大きく成長してきていることを感じ、胸温まる思いであった。

公民館で人権・同和教育を
白川照夫

この機会を生かして、学校同和教育のさらなる実践とともに、公民館はこれまでほとんど手つかずできた人権・同和教育に、主体的に取り組むことを重要であると考える。(新潟市社会教育指導員)

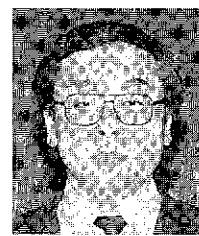


問題の解決をリードする立場にある県庁職員でさえ関心が薄かったし、直接この問題に携わるべき関係者への意識啓発も容易ではな

望に期待がもてた。二十一世紀は人権の世紀といわれ、人権に対する意識が高まってきたことは喜ばしい。それとともに、当県で

地方の個性を活かせ

西山町公運審委員 広川浩一



劉羽郡のある町の中心部から奥まった集落でお年寄りの方が多い。環境を選んだり、ゆったりとした生活の個性をもった物づくりをするような企業は競争に勝てないからである。人間社会までもが生活にても教育にしても同一規格化にしない事実である。

寄と雑談していた時、「あつちの方向が東京でさ、ここはこの町が一番東京に近い集落です」と自慢げに指さしたので、思わず振り返ってみたがその方向は高い山に遮られており、どうみても山また山の行き止りにしかみえないが、表情はまじめで冗談にはみえない。辺地故に東京を引合いに出して自身を納得させているのか。これは言い過ぎかも知れないが、新潟県人は関東圏に対して相当なコンプレックスをもち「あきらめ」をその解決法としているのではなからうか。

ひろば

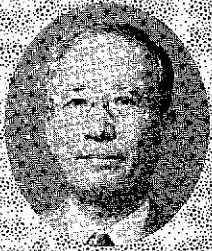
約三十五年前から始まった日本の高度成長経済政策は日本の産業の夜明けの胎動だった。コストを下げるため同一規格の製品を大量生産・大量販売する必要に迫られたため、気候や交通面で際立って条件のよい地域に生産拠点を構えなければなら

豊富な個性を活かした真の人間らしい暮らしへの転換のチャンスである。四季折々の雪国での情緒ある生活、地方文化の開花の先導役として地方自治体の力量が試される場面でもあろう。そして行政というハード分野をパンにたとえれば、公民館を始めとするソフト分野はテーブルに飾る一輪の花である。

時代といわれる今日、働きパチのようにあくせくと同じ動作で生きることから、一人一人あるいはその地方の豊かな個性を活かした真の人間らしい暮らしへの転換のチャンスである。四季折々の雪国での情緒ある生活、地方文化の開花の先導役として地方自治体の力量が試される場面でもあろう。そして行政というハード分野をパンにたとえれば、公民館を始めとするソフト分野はテーブルに飾る一輪の花である。

◇はじめに

最近「クローン羊」や「遺伝子組換え作物」が話題になりました。原発と同じように科学技術の発展が新たな困難な問題を生むのではないかと危惧された方も多いでしょう。近代科学の成功はニュートン力学に代表されるようなアナリシス(分解)にあったといわれています。この方法によって自然界への認識は深まり、素粒子に到達し原子力を生み出したと言えます。またこの方法論が産業化を進め、人類に高度な文明を築かせたわけです。しかし一方では、環境、



『アプローチ』

教授 渡辺 忠

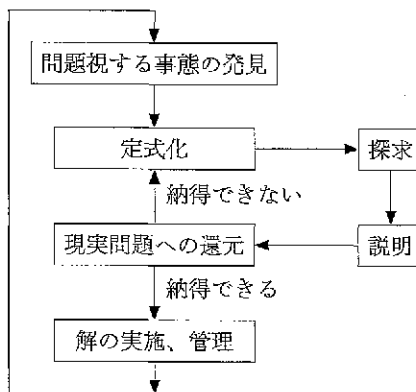
資源、人口、都市化などの重大な問題を発生させたことも事実です。これは文明を形成する諸活動のそれぞれが局所的観点からのみ発展を遂げ、全体としての調和を失ったことに原因があります。この反省から、対象をそれを含んだ全体の一部分としてとらえることの重要性が強調されるようになりました。そこで、問題解決のためにクローズアップされたのがシステムズ・アプローチです。このアプローチの特徴は対象をシステムとして見ることで、政策決定のためにシステマティックな接近法をとることにあります。システムとしての見方は昔からありました。ギリシャ哲学では、全体は部分よりなる。全体は部分に依存して、部分は全体を前提として、存在する」とか、またアリストテレスは「全体は部分の単なる寄せ集めではなくそれ以上のものである」などと言っています。しかし、理念としては存在しても、それを具体化する方法がありませんでした。近代のシステムの認識は1920年代になって、生物学における『生命現象』の理解に始まるようです。さすがに生命現象は単純な因果関係としては捉えられなかったでしょう。第2次世界大戦後の科学技術の飛躍的発

展、原子力、国防、宇宙開発などの大型プロジェクトがシステム論の舞台を準備しました。またその発展にともないオペレーションズ・リサーチ、システム分析(アメリカ政府の予算制度PPBSで採用された分析法)、政策科学という分野で多くの方法が開発され、それをコン

システムとはよく使われる言葉ですが、次の3条件がシステムを構成する要件になります。(1) 多くの異なった機能を持つ構成要素から成る。(2) 構成要素には相互依存関係がある。(3) 構成要素は全体として共通の目的を持つ。

「県の○○予算を増やす必要がある」と主張したとします。予算の増額はよいことですが、そのために予算を減らされるサービスも出てきます。この段階では予算が足りないとは何を基準にして言うのか、県民がそのようなサービスを他のサービスに比して望んでいるのかどうかはまだ不明確です。そこで問題視する事態を解決可能な明確な問題として定義することが必要です。この作業を定式化といえます。

図1 接近法の概要



構成要素間に相互依存関係があるから、ある一構成要素だけの有効性を追及すると、他の構成要素に変調をきたし、全体の調和が崩れるのです。ここで調和とはシステム目的を最もよく達成することをいいます。

3、定式化

定式化ではシステムの範囲、目的、前提を明確にします。ここでは行政が公共サービスの計画を策定する場合を考えているわけですから、このような問題の発生を、公共サービスに対する需給ギャップであると考え、行政はこの需給ギャップを埋めることを目的にして財政支出の配分を決めようとしていると考えます。行政主体による公共サービス活動を、市場機構を媒介して展開されるものと、市場外で都市活動の結果発生する排出物を処理する活動とに分け、前者を公共活動の活動補完機能、後者を排出処理機能と呼ぶことにします。活動補完機能には、産業基盤サービスのよう

2、アプローチ

システムの発達が助けました。システムズ・アプローチは全体と部分を、とくに部分が相互に関連して全体を構成しているという観点から、全体の挙動を推測し、それを望ましいものにするようにする科学技術的方法論です。

システムティックな接近法の概要は図1のようになっています。仮想的な都市問題を例にとりて説明しましょう。さて、初めは問題は漠然としています。何か問題がありそう

1、システムの要件

問題視する事態」と呼ぶことにします。たとえば、ある圧力団体がそれを支援する議員とともに

特別寄稿

『システムズ』

新潟国際情報大学

す。公共政策は公共サービスの目的と機能にそったプログラム単位の計画と予算から構成されますから、住民の不満を測定評価し、指標化しておけば、プログラム間の資源配分のトレード・オフが可能になるわけです。また経済情勢とか国の財政事情といったシステムの範囲外の状況について前提を設けます。

4、探 究

な生産補完機能、住宅、教育サービスのような生活補完機能、交通・通信サービスのような移動補完機能があります。これらの補完機能がスムーズに行われないと供給不足、供給過剰という形で、住宅困窮、すし詰め教室、通勤ラッシュ、交通混雑などの麻痺現象が現われます。排出処理機能は下水・ごみ処理、消防、医療、防犯などのサービスで、この面の需給ギャップは公害問題、火災、病気、犯罪などに現われます。

探究ではまず実行可能な政策の集まり(代替案)とそのプログラム別予算(コスト)を調べます。意志決定は可能な政策案の中からの選択ですから、どのような政策が実行可能か、そしてその予算はいくらになるのかを明らかにします。仮説をたて実験をするという科学的方法でいえば、この部分は仮説をたてることに相当します。ついで行政主体が制御できる要因と制御できない要因を明らかにします。これは次の説明のために必要な作業です。

5、説 明

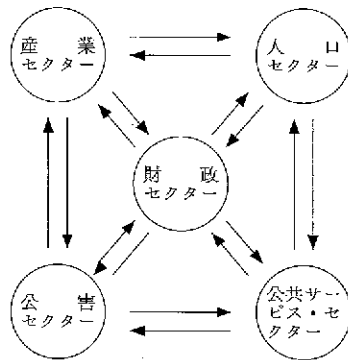
システム目的は公共サービスの需給ギャップに対する住民の不满を少なくすることとします。

説明とはモデルを作り、計算し、分析することを言います。実験のために現実の社会を使うわけにはいきませんから、コンピュータの中に社会を模写した

モデルを作ります。このモデルによりシステム目的に基づいて政策の善し悪しを検証しようとするのです。この政策決定のためのシミュレーション・モデルのフレームワークは図12のようになるでしょう。

各セクターは多くの変数から成り、フィードバックループによってセクターが相互に情報の交換と制御を行います。たとえば、人口と産業活動は公害要因

図2 シミュレーション・モデルのフレームワーク



を発生するが、一方で財政の収支に影響を与え、財政は公共サービスのセクターの廃棄物処理に影響し、公害防除の結果は地域の魅力を左右し、再び人口と産業に影響を与えるなどです。必要ならば県民の意見を反映させるためにモデルの中に県民をプレイヤーとして組み込むことも可能です。このようなモデルを作成し、シミュレーションを

10年から20年の長期間にわたって行い、主要な変数の変動、それにともなう県民の不満度の変化を分析します。

6、現実問題への還元

以上で最適な予算配分(解)が得られたとしても、現実の社会システムとコンピュータの中のモデルは当然異なります。ここではその差異が引き起こす問題を考えます。定量化できなかった要因の影響、不確実性などです。その政策に反対すると予想される人々の意見を考慮することも必要です。このアプローチは反対の原因がシステムに対する理解の差にあるのか、

システム目的が異なるのかを明らかにします。少なくとも議論の枠組みを提供することができません。解(結論)が納得できないければ、該当する段階まで戻り検討し直します。このフィードバックは科学的方法という意味からも重要なプロセスです。

7、解の実施、管理

納得できれば(すなわち予算

案が議会を通れば)実施に移るわけですが、新しい政策は新しい問題を生みます。システム目的や範囲が変化したり、予想もしなかった問題が起こる可能性もあります。それに対処することも、アプローチの中に含まれます。

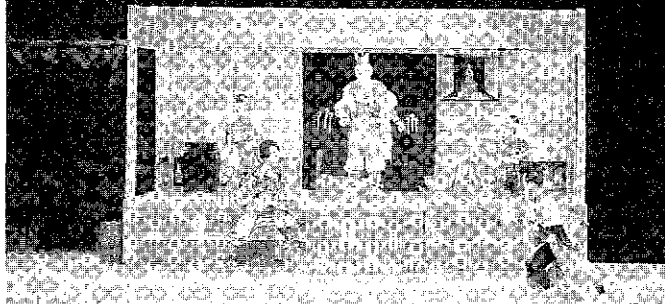
このような意思決定を行うためには、いろいろな専門家や実務家の協力が不可欠な場合があります。そのほかにも、政策決定者や市民が研究に参加すること、ここで述べた住民の不満度のような操作可能な価値理論を作り上げること、政策決定に携わる専門家を養成することなども重要です。

以上、仮想的な問題でシステムズ・アプローチの概要を説明しました。世の中が複雑になるにつれ、社会現象を単純な因果関係で説明するのは困難になってきました。また、行政等の些細な政策変更が大きな社会的影響を引き起こす危険も増えてきました。それだけ意思決定は難しくなったといえます。システムズ・アプローチが必要になる場面はますます増えてくると思われます。



第9回全国生涯学習フェスティバル

まなびピア新潟市佐渡会場からの発信



その中から今回は、下越公連
役職員研修会の折、佐渡地区公
連会長伊藤博様よりお誘いを受
け、取材した関係もあるので、佐
渡会場の様子を紹介したい。
12日(日)、あいにくの雨天でち
びっこ体験広場は取材できな
かったが、地公連主催の芸能発
表会は、予定どおりアミューズ
メント佐渡会場で開催された。
中でも庄巻は片野尾子供歌舞
伎で、両津市片野
尾小の児童らが地
域の保存会の方々
の義太夫や三味線
の音色、拍子木の
リズムに乗って、
男役は「見得」を、
女役は「くどき」を
見事に演じていた。
昭和56年から隔
年ごとに公演して
いるそうで、公演
する年には教育課
程に位置付け、古
里の伝統芸能に全
身で触れる体験活
動として進めら
れ、指導は保存会
を中心に、地域ぐ
るみ、家族ぐるみ

・とき/平成9年10月12日(日)
・ところ/アミューズメント佐渡
(佐渡郡佐和田町)

「学社融合」を地でゆく

片野尾子供歌舞伎の堂々の大見得

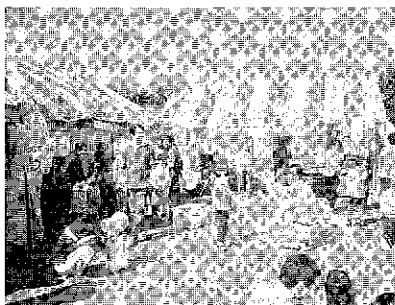
第9回全国生涯
学習フェスティバ
ルは、10月9日(休
)13日(日)まで県内
4市2地域圏で開
催され、無事成功
裏に終了したが、
それぞれの圏域で
は各市町村公民館
も積極的に事業参
加していた。

の取組みとなり、正に「学社融
合」を地でいくようである。
今回の演目は「絵本太功記」
で、役者が足りないため、今春
卒業した前浜中の1年生が5人
友情出演している。
午後の赤泊村の創作民話劇
「たがずが浜」の公演も地域ぐ
るみの出演で、たっぶり2時間
近くの熱演であった。赤泊の民
話「悲しい佐渡半」を素材とし
て脚本化し、舞台美術・照明に
至るまですべて手作り、そして
各種団体・小・中高校生・高齢
者までの幅広い層の人々が関

島の生涯学習成果発表フェスティバル

芸能学習発表 10:00~17:30

- ◆特別公演 「片野尾こども歌舞伎」
- 民話劇 赤泊村公民館(赤泊漁業協同組合 御神所太鼓の会 山田やまびこ公民館 羽根の会 リトルスターつむり)
- 大正琴 松ヶ崎公民館 (多田教室)
- 春駒 新穂村公民館 (新穂婦人会)
- クラシックパレー 相川町公民館 (ペルポール)
- 岬太鼓 小木町公民館 (深浦中岬太鼓)
- 民踊 両津市公民館 (公民館民踊教室)
- コーラス 金井町公民館(くわの実コーラス)
- 子ども民謡&三味線 羽茂町公民館(民謡教室)
- 剣舞 真野町公民館(剣・詩舞道教室)
- エアロビクス 畑野町公民館 (木曜バンダナ)
- 太鼓響 佐和田町公民館 (自主学級)



生涯学習体験広場(マナビィ広場)



わっている。
あとは紙面の都合で紹介でき
ず残念である
が、左表芸能発
表プロをご覧い
ただきたい。

生涯学習見本市

見本市では、いろんな
方といろんな形で出会っ
た。まず、事前に電話い
ただいた関係で、柏崎市、
糸魚川市の展示コーナー
を見る。それから知人の
おる新潟市、山北町で少し立話、
生涯学習関係の展示で興味を覚
えた津南町、牧村、寺泊町では
カメラを向けてみたが……。
のどの乾きを覚えた中条町で
はドッコン水を飲み、その由来
を尋ねたらパンフを読んでもく
さいとのこと。最後の十日町市
では、公民館を生涯学習推進の
中核施設として位置づけ、堂々
と展示していた気迫にはとても
感銘を覚えた。

好天に恵まれた10月10日(金)、
ぶらりと新潟市産業振興セン
ターへ向かった。駐車場は既に
満杯状況で、行楽を兼ねた家族
連れで賑わっていた。
マナビィ広場で列をなしてい
たのは、何ととっても消防署に
よる梯子車の体験乗車で、青空
高く昇降する中で、子どもたち
の歓声が響いていた。
学びの体験教室では、新潟市
公民館利用者団体による諸手つ
ぐり教室が好評のようだった。
また、磐越高速道開通のからみ
か、国立磐梯青年の家の科学実
験室が目についた。

サークル交流

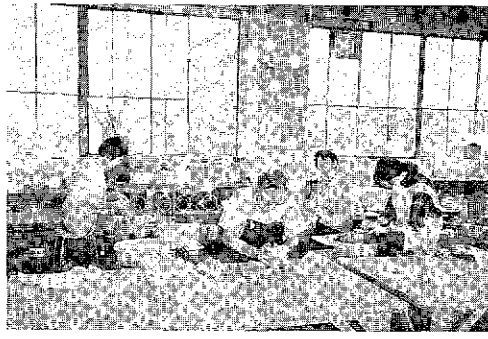
陶芸に魅せられて

陶炎木曜コース

「陶芸講座」が白根市中央公民館主催で開かれたのは、昭和五十八年でした。その時に退職した私は、「広報しろね」で知り

申し込みました。五月から、月二回先生のご指導で土から、湯飲・一輪差など完成したものを手にした時は大変感動しました。

講座が終り「陶炎木曜コース」の名称で自主活動に入りました。現在の会員は男性三名、女性六名の合計九名です。各自の都合の良い時間帯で午前十時か



ら午後五時までの間に活動します。大体昼食の時間をはさんでやりますので、昼食時間が楽しいのです。陶芸の制作が生活の中に根づいて、一週間のリズムの中に欠かせないものになっています。

夏休みには、親子陶芸教室が開かれ、グループで指導に当ります。親子で目を輝かせて取り組んでいる姿は、ほほえましく陶芸をやっている良かったと思えます。グループで支え合う陶芸の製作は私達の生き甲斐です。(陶炎木曜コース 代表 細貝 溪子 記)

私たちのサークル活動

栄町ダンスクラブ

私たちのサークルは、公民館が主催した「初心者ダンス教室」の修了したメンバーで結成した「ダンス大好きサークル」です。さて私たちのクラブのレッスンは、初級・中級の2グループに分かれて週2回ずつ、「レベル」に応じたダンスを楽しく学んでいます。

メンバーのダンスを始めたきっかけは?というのと、最近の多様化した社会を反映して、「余



暇を活用して何かやってみたい」とか「楽しみながら健康づくりをしたい」という方が多く、実際やってみた感想は「家事育児中心の生活から自分の時間を作れるようになった」と「ストレス解消に最高!」などといった喜びの声が寄せられています。

今年4月、町の生涯学習情報紙「ふれあい」に「ダンス初心者講習会」のよびかけをお願いしたところ、予想を上回る参加者があり、改めて生涯学習の大切さを感じました。

最後に、サークル活動を通して心と身体の健康を養い、心豊かな毎日を過ごしていけたら幸いです。(栄町ダンスクラブ 代表 伊東 正信 記)

加茂市公民館西分館

主事 坂上 和雄 様

昭和61年から分館推進委員を勤め、その後平成2年から分館主事として地域の公民館活動をまとめてきました。地域のために地域の人たちとともに新しいことを生み出してつくり上げる手腕は素晴らしく、西地区の自主的な活動を引き出しています。人柄は明朗活発、つねに前向きで、つたない本館職員をピンピン指導してくれる大先生です。



坂上 和雄 様

素顔

中郷村教育委員会

吉原俊美 様

年間を通して各種スポーツイベントや研修会等で、土・日曜日に出勤する事が多い「社会体育」を担当して5年目を迎え、朝は誰よりも早く出勤をし、仕事をテキパキとこなす様子は、超ベテランの風格が感じられます。自動車とワインの事なら結構詳しく、特に愛車フランス製の高級車を転がす(通勤は日本車)一方、ワインはドイツワインにこだわりを持っているダンディーな若者です。また、カラオケも得意で特に「アニメ主題

拝見



吉原 俊美 様

歌」を歌わしたら右に出る者はいないほど歌い続けてしまふ大変陽気な性格をしています。こうしたムードが功を奏してか周りの人の信頼も厚く、仕事面でも時には多種目の講師もこなし、悠然と動き回っています。持ち前の行動力で、ぜひこれからも頑張ってほしいと思います。(中郷村教育委員会 漆間 稔 記)

恵贈資料紹介

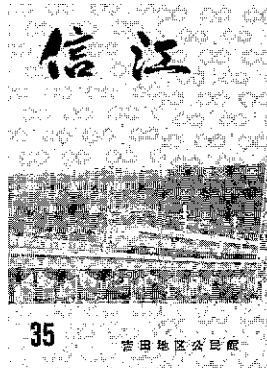
「信江」35



創刊以来35年の星霜を重ねて刊行されることを、地区公民館長の小山哲夫様が、巻頭でのお祝いで述べておられます。

発刊の主体は、地区内の婦人会長、JA女性部長、若妻会、嫁会等の方々が、執筆依頼から原稿集め、編集、印刷発注、校正、完成本の販売に至るまで関わっておられると聞いております。

十日町市 吉田地区公民館



内容面では、☆現代社会に思う、☆思い出、☆毎日の生活の中、☆わが子・孫を見つめて、☆私の夢、☆学級・講座・グループ活動に参加して、☆文芸、等で構成され、百名近くの婦人の皆様の毎日の生活に根ざした深い

い思い出を綴られた感想文、随想等、また見事な文芸作品等が掲載されております。

あとがきの欄で、地区公民館の児玉悦様は「館長の編集要領の説明を聞いている皆さんの目が輝いていました。35年間にどれだけの人たちからお手伝いしていただいたのだろう、と思うと、改めて感慨深く思いました。年月を刻んでいくことの大切さ、生活の中からの知恵やその時々を社会を写し出せる貴重な記録集であります。」と結んでおられたのが印象的でした。創刊以来35年に、大きな拍手を送りたいと思います。

恵贈資料紹介

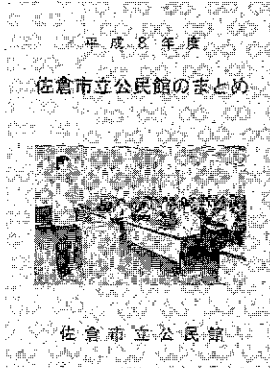
平成8年度 佐倉市立公民館のまとめ

関プロ初の女性会長金子陽子様が所管される佐倉市立公民館から、平成8年度のまとめが恵送されて参りました。

中央公民館をはじめとして、5地区館の概要、運営、事業等が242頁にわたってまとめられております。

最初、市全体の概況・社会教育施設設画・社会教育施策・公民館運営計画・公民館運営審議会・公民館主事研修会・公民館決算等が17頁にわたって記述さ

千葉県 佐倉市立公民館



また、中央公民館並びに5地区館のまとめは、共通事項として一、地区の概要、二、管理・運営の部、1公民館運営計画、

2公民館の概要、三、事業の部、として記述・紹介されております。但し、事業の部では、その地区公民館の独自の事業、特色のある事業を詳しく記述・紹介しており、大変読み易く、比較し易いように工夫されております。

とくに興味を引いたのは、四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」で、全国的にも珍しい専用校舎を持つ高齢者教育事業だそうです。また学習課程は、一、二年次は「であい課程」と名付けられた一般教養、三、四年次は専門課程として4コース設定され、実践的な学習となります。

近頃、子どもたちと話をしていますか。

近頃、子どもとふれあう時間を持っていますか？全ての大人にとって、子どもたちは大切な未来です。思い出してみてください。あなたの子ども時代を。辛いとき、悲しいとき、悩んだときを。わかってもらいたかったことは何なのか。どんな風に励ましてもらいたかったか。あの日のあなたが、そこにいるはずです。子どもたちの心のシグナルに気付き、受け止めてあげられる大人であるために、大切にしてください。子どもたちとの時間。



【子どもと話そう】全国キャンペーン
～心豊かな子どもたちを育てるために～
文部省・新潟県教育委員会
お問い合わせ：新潟県教育庁生涯学習推進課
☎950-70 新潟市新光町4番地1

あとがき

◇県公民館大会シンポジウム概要報告掲載の関係で、新潟国際情報大学教授渡辺忠先生の「システムズ・アプローチ」は今月

号の掲載となりました。内容的には、多少難しい面があるかもしれませんが、それぞれ公民館での具体例で対照していただければ幸いです。(鈴木記)

表紙解説 「楽山亭」

良寛が幼い頃から親しんだ与板の地にあり、徳川時代、越後屈指の豪商で与板の名家、旧大坂屋三輪家の別荘です。庭園、茶室など数奇を凝らした意匠が見所。

発行所 新潟県公民館連合会
〒951
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025)224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
【定価1部150円 年共1,800円】